



「春」 撮影：徳田 元

目次

| | | | |
|-----------------------|-----|----------------------|---|
| ◆ごあいさつ | 2～3 | ◆火災訓練／くるりんバス実証運行開始！ | 6 |
| ◆職員紹介／医療講演会 | 4 | ◆職場体験学習／脳卒中救急合同症例検討会 | 7 |
| ◆第10回 鹿屋肝属地区脳卒中市民公開講座 | 5 | ◆新入職員の紹介／編集後記 | 8 |

医療法人秋津会

理念

地域と共生し、活力ある医療をめざします。

基本方針

- 一、 脳疾患の急性期医療を充実させ地域住民の救急救命に貢献します。
- 一、 地域医療連携を深め患者様の社会生活・在宅復帰を支援します。
- 一、 患者様の権利を尊重し、説明と同意に基づいた安心と満足の医療を提供します。
- 一、 職員の職業倫理、法令遵守の精神を涵養して、組織を支える人材の育成に努めます。

職業倫理規定

当院職員は、医療人としての社会的使命、職責の重大性を認識し、当院すべての職種に求められる職業倫理を以下のように定めます。

- 一、 医療を受ける患者様の権利と人格を常に尊重します。
- 一、 ホスピタリティの心で患者様の立場に立ち信頼されるように務めます。
- 一、 知識と技術の習得向上のために、常に生涯学習を行います。
- 一、 他職種との相互尊重で協力関係を保ちチーム医療を向上させます。
- 一、 医療の公共性と安全性を重んじ、法規範を遵守した運営に努めます。

患者様の権利と責務

- 一、 公平な医療を受ける権利
- 一、 十分な説明を受ける権利
- 一、 医療に関して自ら決定する権利
- 一、 個人情報保護と開示を求める権利
- 一、 当院の最善の医療を受ける権利
- 一、 良い治療のために私たち医療従事者と協力する責務



理事長
徳田 元

皆様方にはお健やかに過ごしてのことと思います。

平成31年4月30日で平成が終わり、5月1日から新天皇陛下、名前は徳仁（なるひと）、称号は浩宮さまが即位されて令和元年が始まりました。令和という年号が平和で安寧な日々となる事を切に希望しています。

4年前 東京オリンピックの開催が決まった瞬間の感激は関係者のみならず、日本中の人が少なからず味わったことではないでしょうか。今年はいよいよオリンピックの年となり、毎日オリンピックの話話を耳にしないう日はありません。オリンピックは観戦に行くぞと皆さんも決心された事でしょう。国立競技場が完成し、いよいよ始まると言いつ時になって、マラソンと競歩のコースが真夏の暑さ対策のために札幌に変更になりました。観戦券が手に入らなくても最低マラソンはそのコースの何処かに陣取って応援をすることがで

きるぞと楽しみにしておりますたのに……。

今年には鹿児島国体と障害者スポーツ大会が鹿児島で開催されます。

オリンピックに話題をさらわれて、今一盛り上がるの足りない鹿児島国体をみんなで盛り上げていきましょう。

鹿屋でもバレーボールやカヌーなどの競技が行われます。皆さん一人一人が盛大な応援を行えるように会場に駆けつけましょう。

一昨年末に発表した本院の新築移転の話です。令和4年春の落成を目指しています。これらの2年間脳卒中の専門病院として各職員が研鑽を積み、建物だけ新しくするのでなく、人口減少や高齢化社会へ向けての役割やニーズの変化を予測しながら進める必要があります。職員一人一人の力の見せ場です。「チーム徳田」としての組織力を生かして取り組み、この病院の力を信じてもらい、頼られなければなりません。新たな意気込みを持って移転したいものと思います。

今年が皆様にとって素晴らしい年になりますように祈っております。



名誉院長
諸木 浩一

年末まで年が変わる実感がなく過ごしていましたが、年が変わるとスイッチが切り替わっていくことに自分自身もびっくりしております。

昨年度は鹿児島県内において大きな災害はありませんでしたが、九州北部や関東を中心とした地域に甚大なる災害が起きました。温暖化が原因と思いますが、今年度はどの地域に起きてもおかしくない気候変動が起きていることは間違いないようです。

ゲリラ豪雨、線状降雨帯、さらには巨大化した台風の襲来は他人事ではなく、以前の8・6水害や台風の襲来により電柱が根こそぎに倒れ、停電が1週間以上続いた過去も考えると、一歩間違えば台風銀座であった鹿児島にも襲来しないとは言えません。

さて、私も昨年より高齢者の領域に到達いたしました。60歳の還暦時あまり高齢という意識はありませんでしたが、急に今後の残された時間が少ないことに思いが

強くなっております。体力的にはさほど変化が無いようには思いますが、健康寿命を長く持つて行けるように努力しなければと考える昨今です。

今年には国の大きなイベントとして東京オリンピックが開催されます。代表選手は国の威信をかけ、過酷な戦いを繰り広げることでしょう。最高のメダルを周囲は期待するでしょうが、代表として出ることだけでも誇らしい事です。頑張る姿に称賛の思いを届けたいものです。鹿児島においては国体も開催されます。県代表になった選手も頑張ってもらいたいと思います。自分自身もスポーツドクターとして参加する機会があればと考えております。

孫子の兵法の中で（彼（敵）を知り 己を知れば百戦殆（あや）うからず。）があります。

脳卒中に例えると、彼（敵）は脳卒中であり、血管の動脈硬化性変化が大きな原因です。己を知ればは、加齢現象と食生活や運動習慣があたると思っています。

脳卒中発症予防に重要なことと考えますので、今一度ご自身の生活を振り返り、発症させないよう頑張りましょう。もし、脳卒中のサインが見られたら、すぐに受診してください。いつでも病院は対応できる体制はできておりますので。



院長
橋口 昭人

新元号となった令和元年(西暦2019年)5月1日より、医療法人秋津会 徳田脳神経外科病院の3代目院長を拝命しました。鹿児島市出身で、平成8年3月に熊本大学医学部を卒業後、熊本大学脳神経外科に入局致しました。その後、熊本県内外の関連病院で研鑽に努め、平成22年4月に北海道帯広市の北斗病院より当院へ赴任しました。徳田元理事長や諸木浩一前院長の尽力もあって、当院は大隅半島地域住民の皆様から比較的厚い信頼を寄せて頂いており、私自身も今まで以上に多くの症例を日々経験させて頂いていることに感謝しております。私にとっては縁もゆかりもない大隅半島でしたが、赴任以来の10年間、脳神経外科医として貴重な経験をさせて頂いた御恩を当地域住民の皆様にお返し出来るよう、今後も精進してまいります。

大隅半島は日本国内でも有数の高齢化・人口減少の先進地域であり、また地方における医師不足の問題は当院も例外ではありません。課題山積ですが、開設以来約35年となる当院も数年後には病院を新築して、まずはハード面の改善を図ります。ソフト面では、今まで通り脳血管障害・頭部外傷を中心とした診療体制に、今後の当地域人口構成の推移に合わせて認知症診療、脊髄脊椎外科専門医やてんかん専門医による診療等のさらなる充実を図る予定です。あらゆる脳・脊椎脊髄疾患に対応した最高の医療を提供するには、当院はまだまだ力不足ではありますが、当院で治療を受けられる患者様皆様の幸せのため、そして、大隅半島で生活される皆様が住み慣れた地域で安心して脳・脊髄疾患の診療を受けられるよう、職員一同、さらなる努力を続けてまいります。また、周辺医療機関との連携を密にすることで細かな医療体制を整備し、大隅半島はもとより、その近隣地域医療の充実に努力する所存です。皆様、今後ともよろしくお願いいたします。



看護部長
加治木 ゆかり

令和初めての新年をどのようなお迎えになりましたか?とても寒い朝で、窓から見える景色は霜で真っ白、初日の出がよりいっそう輝いて見え綺麗でした。まるで、昨年の出来事を一掃し、新年の朝にふさわしい、身の引き締まるような元日の朝を私は迎えることができました。

昨年(平成から令和に年号が変わり、天皇陛下の即位継承がありました)また、スポーツではラグビー、バスケット等とても感動する瞬間・機会を頂きました。しかし、他県では台風による大災害、多くの交通事故・事件等、悲しい出来事もたくさんありました。

看護部では、「患者様の人権を尊重し、安心・安全な看護をめざします」と看護理念に掲げ、日々取り組んでおりますが、「人を援助する」とは、何を、どのようにすることかという対人援助について前年に引き続き学び、事例を通して深めることが出来ました。患者様の苦しみに焦点を当てた考え、ケアによってその苦しみを和らげ、軽くし、なくするというスピリチュアルケア、さらに患者様の思いを引き出し、その思いに寄り添う事、質の高い医療・看護に結びつく事ができるように頑張って来たのではないかと実感しています。

当院の役割である大隅地区脳疾患の急性期医療を充実させるには、24時間救急受け入れ・手術対応が可能な体制作り、これらに対応できる人材育成などが重要となります。しかし、看護・介護職員の人材不足は切実な問題です。解決できない状況にあります。そんな中でも、各部署の職員ができることに一生懸命取り組んでいます。患者様やご家族から「ありがとう」と感謝の言葉を頂くことが励みとなっており、今後も、業務優先とならないよう、看護職員一人一人が患者様の声に耳を傾け、思いをしっかりと受けとめることができるよう取り組んでまいります。

また2025年の超高齢化社会に向けて、地域包括ケアシステムにおける看護師の役割を理解し、医療と介護・福祉をつなぐ連携強化もさらに進めて参ります。

今後も、地域の皆様に信頼され、安心して頂ける医療・看護の提供ができるよう、より一層努力して参ります。今年度も引き続き、ご支援・ご鞭撻をどうぞよろしくお願い致します。



リハビリテーション
統括部長
下村 正和

昨年9月より徳田病院脳神経外科病棟にリハビリ統括部長として勤務させていただくことになりました。職種は理学療法士ですが、リハビリ部門の急性期リハと回復期病棟および通所リハ部門、そして訪問リハ部門を統括することになりその責任を痛感している一方で、今また新たな部門に関わり多くのリハビリスタッフや他の職員と話ができ日々が新鮮でわくわくしています。

さて私のリハビリ人生ですが、学生の時リハビリは生活を科学する仕事であり創造する仕事だという事を習い正しくそうだと思いがあつた次第です。急性期から自宅生活までのリハビリを考えたとき初めから答えは無く、個々の課題は異なり創造してゆかねばなりません。近年は全国の研究者らによりリハビリにおける科学的な根拠やエビデンスが確立してきており裏付けに基づいた仕事だから楽しく遣り甲斐があるのだと思っています。

先日鹿児島県理学療法士協会50周年記念式典と学会が開催されました。昭和44年5名で設立した

県協会が今は理学療法士2700名の組織になっており、全国でも療法士が養成され今や理学療法士、作業療法士、言語聴覚士を合わせると20万人越えとなってきたことが話題になっていました。しかし社会が大きな変革を迎えた現在と、今後職能団体としてどうあるべきかを考える時だということ、このことは今後私の大きなテーマとして捉えたいと思います。

少子高齢化は予想以上に進んできていることは認識していますが、人は必ず年齢を重ね、全盛期を過ぎ、誰しも突然病魔に襲われてしまいます。医療技術は遥かに進歩しており適切な治療がなされますが必ずしも以前の身体機能に戻らず、障害が残ることがあります。この現実に向き合うことがいかに重要か、二度とない人生をその人らしく生きるためにやることは何か。我々がしなければならぬことは何か、スタッフの個々の提案を協働の仕事として進めてゆきたいと考えています。

最後にある患者さんが「障害は残ったけど皆さんに逢えて人生が変わったよ、新しい生活を見つけた気がする。ありがとう」と話してくださったことがとても印象に残っています。その患者さんの一言が嬉しくて仕事へのエネルギーにもなっています。このような関係性が作れるよう私も微力ながら精一杯努力して参りますのでご指導よろしくお願いいたします。

(株)渡辺組大隅本店様にて医療講演会を開催

10月26日(土)曾於市大隅町の株式会社渡辺組大隅本店様にて、橋口院長が医療講演を行いました。渡辺組グループ婦人会大隅支部総会の「健康講話」として、“夫の健康をどう支えるか～脳神経外科医の立場から～”をテーマに、渡辺組社員の奥様方へ健康管理と脳卒中予防についてお話ししました。約1時間程でありましたが皆さま大変熱心に聴講頂き、終了後にはいくつかのご質問も頂きました。今回講演の機会を頂きました(株)渡辺組大隅本店の皆様に、深く感謝致します。



脳卒中 出前講座

当院では、地域の皆さまに脳卒中やその原因となる生活習慣病についてご理解いただくことを目的に、脳神経外科医が講師として、ご希望の地域にお伺いする「出前講座」を開催しています。脳の専門家による健康を保つ秘訣や、いざという時に役立つ知識を学んで日々の健康づくりにご活用下さい。

～開催について～

- 日程**：出来るだけご希望に沿うように致しますが、講師の診療や手術等により、調整させて頂く場合があります。
- 時間**：質疑応答含め、1時間ほど
- 場所**：地域の皆さまが参加しやすい場所（公民館等）をお願いします。
- 費用**：無料
- ※講演に必要な映像機器等は持参します。



お問い合わせ

徳田脳神経外科病院
【電話】0994-44-1119
【担当】地域連携室 安楽

第10回 鹿屋肝属地区脳卒中市民公開講座 「みずから考える脳卒中」を開催

10月12日(土)鹿屋市文化会館におきまして、第10回鹿屋肝属地区脳卒中市民公開講座「みずから考える脳卒中」を開催致しました。平成22年より開始しました当講座も10回目の開催となります。これまで各分野でご活躍の先生方や専門家の方々をお招きしてご講演頂きましたが、今回は「鹿屋肝属地区の脳卒中を考える会」世話人でもあります諸木先生、新名主先生、特別講演は鹿児島大学病院 糖尿病・内分泌内科 診療講師 出口尚寿先生にご講演頂きました。



講演

●「脳卒中、その予防について」

徳田脳神経外科病院 名誉院長 諸木浩一 先生

平均寿命（生まれてから死ぬまでの時間）と健康寿命（介護を必要とせず自立して暮らす時間）の差をいかにして縮めていくかが課題であり、脳卒中発症予防にも繋がる。年齢や性別、家族歴等は修正不能な因子であるが、高血圧や糖尿、心疾患、喫煙等の生活習慣は修正可能な因子であるため、脳卒中予防の観点からも早目に気づき対処が必要である。



●「認知症について正しく理解しましょう-脳卒中も認知症の重要な原因になります」

徳田脳神経外科病院 脳神経内科 新名主宏一 先生

認知機能とは、自立した日常生活を送るうえで必要な脳機能のこと。認知機能障害とは、1つ以上の認知機能が「病的」障害されている状態。記憶力だけの障害は「もの忘れ」。記憶力を中心に複数の認知機能障害があり、社会生活は困難であるが基本的な日常生活は自立している状況は「軽度認知機能障害」である。認知機能障害には段階があり、最重症段階を「認知症」という。

生活習慣病は脳血管の動脈硬化を促進し、脳内老廃物の処理量を低下させる。この老廃物を溜まりにくくするためには、良質な睡眠と笑いが必要。大いに笑って過ごしましょう!!



【特別講演】

●「STOP！脳卒中～糖尿病から血管をまもるために」

鹿児島大学病院 糖尿病・内分泌内科 診療講師 出口尚寿 先生

動脈硬化は人間の宿命であるが、知らぬ間に体の血管はボロボロになり、糖尿病はそれを加速させる。本県の糖尿病や高血圧症の受療率は他県に比べて高いが、血糖コントロールが悪いと脳卒中になりやすく、同様に脳血管疾患の入院率も高い。糖尿病治療の第一歩は「減量-自分の体重と向き合う」ことである。食物は塩分を減らし、酸味や苦味、辛味、香りで旨味を増やす。早食いをせず、食べ過ぎないこと、買物習慣の見直しも必要である。家電の進歩により家事も楽になっているため、運動習慣が減ってきている現状もある。1に食事2に運動、「百選の薬に勝る自己管理」。



【参加者のご感想】

- ・病気の成り立ちがわかると生活の注意、治療の必要性はよく理解できました。（60代女性）
- ・認知症の話は、とても良くわかり自分も運動また友達と大いに笑って1日1日を大事に過ごしたい。心にしみじみと感じました。（70代女性）
- ・糖尿病は人事ではなく、食生活を見直していき脳卒中の予防に努めていきたい。（30代男性）



火災訓練(初期消火・避難訓練)を実施

10月16日(水)、院内にて火災訓練を実施しました。
 今回は厨房を出火場所として119番通報や避難指示・誘導を行いました。
 午後の診察を待っておられる患者様方にも避難のご協力を頂き、誠に有難うございました。
 当院では年2回の火災訓練を行っております。訓練ではありますが、常に緊張感を持って取り組み、日頃から防災意識を高め、安心安全に努めて参りたいと思います。



くるりんバス実証運行開始!



当院へお越しの患者様やご家族の中には、バスセンターから徒歩やタクシーをご利用される方々も多数おられ、ご不便をおかけしておりましたが、令和元年10月より市街地巡回バス「くるりんバス」の実証運行が開始されました。
 これまでも患者様方からご要望を頂き、その都度鹿屋市へバス運行の必要性を陳情して参りました。現在は実証段階で、
1日3便、火・水・土曜日運行となっております。
 病院正面玄関前に停留所がございます。
 病院受診やご面会の際にご利用下さい。



| | 1 便目 | 2 便目 | 3 便目 |
|------------------------|-------|-------|-------|
| 右まわり 上谷→西祓川→旭原→打馬経由 | 9:39 | 12:09 | 15:34 |
| 左まわり 打馬→旭原→西祓川→上谷経由 | 10:06 | 13:31 | 16:01 |

職場体験学習

11月13日から14日の2日間、「職場体験学習」として、第一鹿屋中学校2年生3名の受け入れを行いました。初日には病院内での注意事項や各部の説明等があり、院内15部署の業務を体験していただきました。終了後にお礼文を頂きましたので、一部披露致します。



★福迫みやびさん

2日間の学習の中で印象に残ったのは、3つあります。1つは「通所リハビリテーション」で、たくさんの患者さんとふれあい、たくさんの笑顔が見られました。2つ目は患者さんの薬を分けて、袋詰めをするのが楽しかったです。3つ目は看護師さんの白衣を着ることができ、心臓マッサージ体験やストレッチャーに乗ったりして、患者さんがどのような気持ちで乗っているのかが分かりました。この2日間で学んだことを、これからの生活にも活かしていきたいです。



★岩崎里奈さん

特に印象に残ったことは、「患者さんの気持ちを第一」としていたことです。決まりが厳しい病院では、起床時間が決まっていたりするのに、こちらの病院では〇時から〇時の間に起きればよいとなっていたのが良いなと思いました。

★東別府可愛さん

特に印象に残ったことは、「協力・連携の大切さ」です。教えていただいたことに、多職種連携という言葉がありました。病院内には多くの方がいて、多くの仕事がありました。どの仕事も欠けてはいけない大切な仕事でした。私はたくさんの方が協力をして、患者さんや退院した人たちのサポートをしているのを見て、「協力」や「連携」の大切さを実感しました。これからたくさんの人と協力していきたいです。

脳卒中救急合同症例検討会を開催

当院は大隅地域における脳疾患の急性期医療を充実させ、地域住民の救急救命に貢献することを基本方針とし、年間約900件(昨年実績)の救急車受入を行っています。一刻を争う脳卒中救急医療は院内スタッフの連携はもちろんのこと、現場に駆け付ける救急隊員との連携も非常に重要です。肝属、曾於、垂水地区の救急隊員の皆様と救命率を高めるための連携強化、また患者搬送時の課題等について意見交換を行いました。



外来・中野師長
「救急搬送時における提言」



井上医師
「脳梗塞超急性期治療」



橋口院長
「前回の検討会を踏まえて」

検討会終了後にはアンケート調査を行い、当院職員の対応や次回開催時の内容等についてご意見を頂きました。

今後も各救急隊員の皆様と連携を図り、大隅地域住民の皆様方の救急救命に貢献して参ります。



新入職員 の紹介

所属
栄養科 管理栄養士

氏名
末吉 彩夏

趣味・特技
コーヒー、シール・文房具・ラッピング用品(をつい買ってしまいただん増えています)

ひとこと
いつも優しく声をかけてくださり、ありがとうございます。よろしくお願いいたします。

所属
外来 看護師

氏名
岩重 みゆき

趣味・特技
園芸、加工食

ひとこと
19年間訪問看護師として、利用者さんが安心して療養生活が送れるように、支援してきました。今回、新たな気持ちで医療現場に入り、看護業務を学び、貢献したいと思っています。

所属
とくだ居宅介護支援事業所 介護支援専門員

氏名
若松 恭子

趣味・特技
寺社仏閣巡り、散歩

ひとこと
1月1日付で入職いたしました。日々笑顔を忘れず、成長していけたらと思います。よろしくお願いいたします。

所属
放射線科 放射線技師

氏名
大川 杏奈

趣味・特技
マンガ、テレビ鑑賞

ひとこと
早く仕事に慣れるよう、日々努力していきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

所属
放射線科 放射線技師

氏名
大川 大輔

趣味・特技
麻雀

ひとこと
迅速・丁寧を心がけて頑張ります。よろしくお願いいたします。

編集後記

昨年はアジア地域初開催のラグビーワールドカップで日本中が大変盛り上がり、見事ベスト8に進出した日本代表チームのスローガン「ONE TEAM(ワンチーム)」は2019流行語大賞にも選ばれました。この言葉は初代表や新旧メンバーが混在する中で、「一体感のある組織を目指そう」と選手も加わり決められたそうです。

院内においても立場や職種による考え方や向き合い方の違いなどから常に全てがスムーズにいくわけではありませんが、患者様に安心と満足度の医療が提供できますように努力して参りたいと思います。(安楽)

所属
地域医療連携室

氏名
柳川 志穂

趣味・特技
映画鑑賞、美味しいものを食べる事、飲む事

ひとこと
一つでも多くの事を学びながら、早く仕事に慣れるように頑張ります。

所属
通所リハビリテーション 介護福祉士

氏名
森田 愛美

趣味・特技
バスケ、ショッピング

ひとこと
一生懸命頑張りたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

診療予約についてお知らせ

かねてより診療時には長時間お待たせして、大変ご迷惑をおかけしております。当院では、外来での待ち時間を極力短くするために、再来診察のみを予約制としております。外来診療終了時に次回の受診予約を入れますので、医師と相談の上、日時を決めて下さい。その際、診療予約票をお渡ししますので、次回の診療時にご持参ください。なお、担当医師の希望がありましたら、遠慮無く外来看護師へ声をかけてください。

病院長

○当院では下記の通り曜日別に外来診療担当医が変わります。

外来診療予定表 (2019.4.1)

| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|----------|-----|---------|-----|---------|----|------------------------|
| 外来診療担当医師 | 徳田 | 徳田 | 橋口 | 徳田 | 徳田 | ますにて受付前の月間予定表お知らせいたします |
| | 諸木 | 諸木 | 諸木 | 諸木 | 諸木 | |
| | 新名主 | 新名主 | 新名主 | 新名主 | 橋口 | |
| | 橋口 | 井上(手術日) | | 井上(手術日) | | |

*手術、検査などにより変更される場合があります。不明な点がございましたら、受付へおたずね下さい。

医療法人 秋津会

徳田脳神経外科病院 通所リハビリテーション とくだ居宅介護支援事業所

〒893-0011 鹿兒島県鹿屋市打馬1-11248-1
TEL.0994-44-1119(代)/FAX.0994-40-3155
<https://tokuda-hp.com/>

診療時間 平日 午前8:30~12:00 午後2:00~5:30
土曜 午前8:30~12:30 (土曜日午後・日曜日・祝祭日は休診)

※救急は、24時間365日
いつでも対応いたします。

毎月健康保険証の確認をさせていただきます。月初めの来院日には保険証の提出をお願い致します。また、保険変更等ありましたら早めに受付までお知らせ下さい。

面会時間 午前10:00~午後8:00

至重水方面 ● 国道220号線(バイパス) 至志布志方面
コマツ 鹿兒島
ここに専用あり 徳田脳神経外科病院 155台 自転車可能台数
中西写真 松 下 幼稚園 文化会館
らばしゅ 城山トンネル リナシティ
至重水方面 ● 国道269号線